

すさまじい勢いで発展する駆動系の最新技術をまとめて学ぶ!

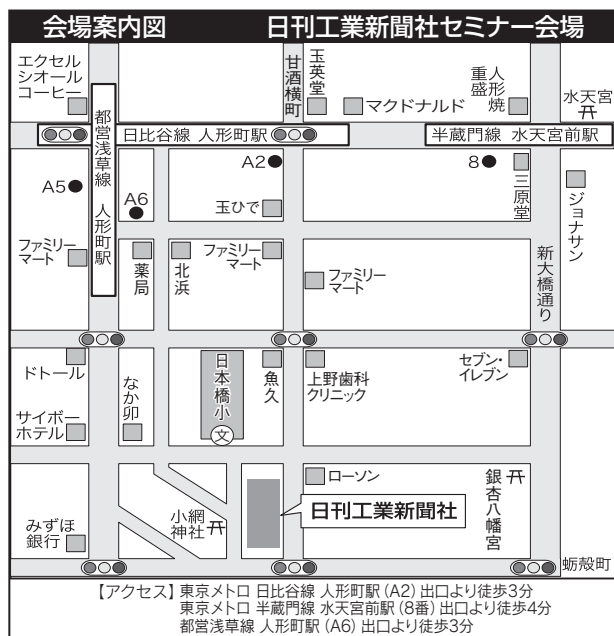
自動車用パワートレーンの電動化(48V,PHEV,EV等)技術 / 省燃費技術の最新動向~EV新時代を迎えて~

日時 2018年 **5月31日(木)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

主催  **日刊工業新聞社**

会場 **日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム**
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 **43,200円**(資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

なお、当日の録音・録画は固くおことわり申し上げます。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
(株)日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱東京UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書

5/31 パワートレーン

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：43,200円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名		業種	
氏名	フリガナ _____ 部署・役職 _____	TEL	
所在地	〒 _____	FAX	
E-mail :		※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。	

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.180050

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

★最近の自動車業界は、100年に一度の変革期であり、新しいビジネス形態が生まれてきています。特に異業種の企業の新たな参入を始め、開発競争も激化しており、各社ともに、生き残りのためには新たなビジネス戦略が重要です。

★特にこのセミナーでは下記の項目を分かりやすく解説します。

- ①パワートレーンの動力源別の今後のロードマップや地球温暖化や大気汚染に関する各国の環境規制動向
- ②2050年までを見据えた自動車の様々な動力源別のロードマップ予測
- ③最近の省燃費技術（過給ダウンサイジングや電動過給、アトキンソンサイクル、軽量化等）や今後の省燃費（熱効率向上）技術（可変圧縮比やHCCI、燃料改質等）の特徴と動向
- ④今後の48VMHEVやHEV、PHEV、EV化等の電動化技術の動向
- ⑤EV化により影響を受ける製品や新規製品、今後のEV化促進のキー技術等

講師

ワールドテック 講師 **加藤 克司** 氏

【略歴】 1973年、日本電装（現デンソー）に入社。排ガス対策、燃費向上技術を中心とするエンジン制御システム（EMS）開発、国内外の多くの自動車メーカーのEMSの開発に従事。07年からタイの同社初代テクニカルセンター長、10年からは新興国向け開発プロジェクトのグループリーダーを歴任。

プログラム

- (1) 地球温暖化や深刻な大気汚染に関する自動車関連の最新の環境規制（排ガス、CO₂規制、ZEV規制、NEV規制、EVシフト規制等）動向
- (2) パワートレーンの省燃費(熱効率向上) 技術の最新及び今後の技術動向
- (3) 2050年までのパワートレーン動力源別（ガソリン車、ディーゼル車、天然ガス車、48VマイルドHEV、フルHEV、プラグインHEV、EV、燃料電池車）のロードマップ及び各動力源別のWell TO Wheel CO₂比較
- (4) パワートレーン電動化技術（EV、48VMHEV、HEV、PHEV、等）の特徴と課題、カーメーカーの電動化戦略
- (5) EV化のキー技術である次世代電池の今後の動向
EV化による従来製品への影響、新規に生まれる製品、トランスミッションへの影響
- (6) 全体質疑